

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

第58回臨時理事会議事録

- 1 開催日時 2024年9月13日（金）14時00分～16時00分
- 2 開催場所 大阪市北区中之島6丁目2番27号
大阪国際会議場 10階「1004～1007」を開催場所として、
Web会議システムの併用による会議
- 3 出席者数 理事総数 34名 出席理事 26名
監事総数 2名 出席監事 2名
- 4 出席役員 理事 十倉 雅和、石毛 博行、松本 正義、鳥井 信吾、宮部 義幸、
川崎 博也、小林 健、吉村 洋文、横山 英幸、三日月 大造、國部 毅、
浅川 智恵子、池坊 専好、ロバート キャンベル、澤田 拓子、
寺田 千代乃、野田 由美子、廣瀬 恭子、フォーリー 淳子、福本 ともみ、
御手洗 瑞子、小野 平八郎、高科 淳、東川 直正、田中 清剛、櫛 真夏
（なお福本理事は6号議案の審議から出席した。）
監事 小原 正敏、中務 裕之
なお、鳥井 信吾、小林 健、浅川 智恵子、澤田 拓子、
寺田 千代乃、野田 由美子、福本 ともみ、御手洗 瑞子
の8名は、Web会議システムにより本理事会に出席した。

5 議題

（1）決議事項

- 第1号議案 会期中組織への移行の件
- 第2号議案 メタンガス対策の件
- 第3号議案 タイプXのC活用等、休憩所等整備の件
- 第4号議案 会場整備にかかる工事等の変更の件
- 第5号議案 夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借の
契約変更の件
- 第6号議案 紙チケットの来場日時予約なしでの利用条件の件
- 第7号議案 2025年日本国際博覧会ペット同伴来場実施見送りの件

（2）報告事項

- 理事からの報告 IR工事における万博への影響低減策

- 報告事項 1 運営費及び会場建設費の執行状況の件
- 報告事項 2 会長、事務総長及び副事務総長の職務の執行状況の件
- 報告事項 3 大阪・関西万博の機運醸成に関する件
- 報告事項 4 イベントの現況の件
- 報告事項 5 会場内・外周バス乗車料金の件
- 報告事項 6 桜島駅シャトルバスの準備状況の件
- 報告事項 7 公式参加者による運営委員会等の件
- 報告事項 8 海外パビリオンの出展状況の件
- 報告事項 9 防災実施計画の策定の件

6 議事の経過の概要及びその結果

出席する理事に対して、Web会議システムにより、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認して、定刻、定款第33条に基づき十倉雅和会長が議長となり、開催を宣言し、理事会が開催された。議長の指示により事務局から、本理事会は、定款第34条の規程に定める定足数を満たし、有効に成立している旨を説明した。なお開催に先立ち、事務局から、時間の制約上、本会では報告事項の詳細な説明は行わないことを説明し了承された。

その後、下記議事の審議に入った。

なお、議長の指示により、質疑応答の進行は事務局が行うことになった。

また、議事録記名人は定款第36条の規定に基づき、十倉雅和会長、石毛博行事務総長、小原正敏監事及び中務裕之監事とした。

【決議事項】

第1号議案 会期中組織への移行の件

議長により担当理事が指名され、当該議案について説明するよう指示があり、担当理事は、議案書のとおり、万博会期期間中の会場運営に適した組織体制へと変更すべく、会期中の組織体制及び組織名称について、承認を求める旨の説明を行った。

この賛否を諮ったところ、全員異議なくこれは原案どおり可決された。

第2号議案 メタンガス対策の件

議長により担当理事が指名され、当該議案について説明するよう指示があり、担当理事は、議案書のとおり、万博会場で発生するメタンガスのための各種対策を実施することについて、承認を求める旨、説明を行った。

この賛否を諮ったところ、全員異議なく、これは原案どおり可決された。

なお、本件について、各理事より以下のような意見や質問があった。

- ・メタンガスの問題に対処いただき感謝する。引き続き、ガスの安全対策並びに暑さや災害対策についても重ねてお願いしたい。
- ・コスト削減に取り組みながら進めるとともに、予備費の執行にあたっては、事前にオープンな場で経費削減の取り組みを説明いただきたい。
- ・次にガス事故があれば、万博への影響は重大なものになるため、今回のメタンガスの安全対策には賛成。引き続き徹底的な対策を進めていただきたい。
- ・博覧会協会のHPにて測定値をどのように発信するに当たっては、安心してもらえるよう、情報発信をしっかりとっていただきたい。

第3号議案 タイプXのC活用等、休憩所等整備の件

議長により担当理事が指名され、当該議案について説明するよう指示があり、担当理事は、議案書のとおり、タイプXパビリオンの9棟のうち、同タイプとしての活用が見込まれない4棟について、タイプC出展を希望する国の受け皿施設と子ども・団体の休憩所として活用することについて、承認を求める旨、説明を行った。

この賛否を諮ったところ、全員異議なく、これは原案どおり可決された。

第4号議案 会場整備にかかる工事等の変更の件

議長により担当理事が指名され、当該議案について説明するよう指示があり、担当理事は、議案書のとおり、2023年9月29日の臨時理事会において決議し、変更契約したパビリオンワールド南東工区、西工区、グリーンワールド工区の各施設整備事業について、契約変更を行うべく承認を求める旨の説明を行った。

この賛否を諮ったところ、全員異議なく、これは原案どおり可決された。

第5号議案 夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借の契約変更の件

議長により担当理事が指名され、当該議案について説明するよう指示があり、担当理事は、議案書のとおり、夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借契約について、詳細設計の進捗に伴い変更を行うことについて、承認を求める旨、説明を行った。この賛否を諮ったところ、全員異議なく、これは原案どおり可決された。

第6号議案 紙チケットの来場日時予約なしでの利用条件の件

議長により担当理事が指名され、当該議案について説明するよう指示があり、担当理事は、議案書のとおり、予約可能引換券の来場日時予約なしでの利用条件について、協会事務局案の説明を行った。つづいて吉村副会長より、大阪府・大阪市案の説明を行った。

これを受けて、各理事より以下のような意見や質問があった。

- ・運営費はこれから増えるかもしれないし、チケット収入は多い方がいい。

- ・買いやすさ、行きやすさを最大限保証することも大事。チケット収入を確保していくにあたり、我々もより一層PRを強化していきたい。
- ・ゲート前に人が溢れれば、駅に影響が出て、メトロの運営に支障が生じ、市民生活にも影響が生じかねない。市民生活に悪影響を与えないように運営する責任もあり、実務の観点としては、制限をしないと厳しい。
- ・たくさん買ってもらうためには、たくさん来ていただける仕組みを構築すべき。予約なしでも来られるような日を十分にとるべき。
- ・ゲートコントロールは、オペレーションで対応できる場所もあろう。例えば、非常に多数の方が来られる時間帯に早めにお客さんが溜まってきたら、ゲートで待たせず、少し前に入れる。そうしたオペレーションも加味したうえで、売りやすさ、買いやすさ、高齢者の行きやすさや、わかりやすさも必要ではないか。
- ・夢洲駅や入場ゲートが混雑する懸念もある。高齢者もウェブなどで情報をキャッチする傾向はあると思われるので、しっかり事前に情報発信すれば大きな混乱を避けられるのではないか。まずは買いやすいチケットになることが非常に大事だ。
- ・高齢者と紙のチケットをプレゼントしたい人の二つが大きなターゲットなら、わかりやすさが一番重要。色々条件がついていると、プレゼントされてもわかりにくい。高齢者の多くは空いている平日に行くと思う。平日の来場者を増やし平準化することを考えると、平日は予約なしで可を基本とし、必要なら制限を付す。また、会期後半は平日でも来場者が増える予測なら、お盆か7月末までは「平日は予約なしで可」を基本としては。
- ・例えば時間帯や曜日で分け、ある程度グリップできるよう紙チケットを作る一方、その時間や曜日に来る方の性質や要望を予想し、そこで、高齢者が一緒に参加して楽しめるアクティビティを仕掛けるなど、能動的に企画に落とし込めるのではないか。また、高齢者が新聞などの紙媒体やテレビで情報を得るのなら、協賛で織り込みを作るなど、広告を積極的に打つべき。
- ・両案の違いは、多くの来場者が見込まれる時期をどうするかということ。運営費を入場券販売で賄うなら、なるべく多く売ることが必要。一方、ゲート前が混雑と入り口で待たされるという事務局の懸念もよくわかり、議論して会長一任するのも一つの手だ。
- ・350万人と想定される外国人来場者は、予約なしではほとんど来ない。想定来場者から、この数を引き開催日数で割っても、予約のない方が右往左往するような状態ではない。
- ・高齢者で予約をできない方や、ネットに強くない人もいるので、行きやすさ、わかりやすさ、買いやすさ、売りやすさを重視すべき。11時まで、ゴールデンウィーク、お盆そして最後の一ヶ月は除外日にする、この3つのオペレーションであれば、わかりやすく説明できるのではないか。
- ・例えば6月の平日であっても、テレビで取り上げられた翌日は混雑することもあるはずで、混雑してもお客様が嫌にならない工夫をたくさんすることが大切だ。処理能力を考えると、滞留するならゲート前だろうが、暑さ対策はしているか。また、待ちながらも、たとえば

ディスプレイで映像が見られるなど、待ち時間も悪くないと思える工夫が大事だ。

- ・遠方の方が万博に行こうと思うと、そのためにだけより、仕事などにくっつけて行く形になるだろう。直前に予約することが難しいケースもあるし、必ずしも年配の方だけでなくとも、行ける時間に行けるならありがたいという人は多いと思う。

(議長)

- ・会長一任とさせていただいた。皆さんからいただいた意見をよく吟味しながらデータも勘案して、もう一度会長以下事務局で考え、大阪府市ともご相談させていただきたい。

これらの議論を受けて、議長より、「予約可能引換券の来場日時予約を必須とする日時を交通機関・ゲート前が特に込み合う午前11時までと、多くの来場者が見込まれる日・時期とする」こと、また「多くの来場者が見込まれる日・時期の具体的設定は会長に一任する」ことの2件について、承認を求める旨、提案を行った。

この賛否を諮ったところ、全員異議なく、これは原案どおり可決された。

第7号議案 2025年日本国際博覧会ペット同伴来場実施見送りの件

議長により担当理事が指名され、当該議案について説明するよう指示があり、担当理事は、議案書のとおり、2024年6月27日の理事会において議案として提出された「2025年日本国際博覧会ペット同伴来場実施」について、その後検討を経た結果、実施を見送ることについて、承認を求める旨、説明を行った。

なお、本件について、各理事より以下のような意見や質問があった。

- ・前回の理事会では、私自身は目的が達成できるよう案の練り直しを要望した。そのうえで今回の万博のテーマに即している内容で大事な機会だと思っていた。
- ・今までの努力ももちろんのこと、万博で世界と共有し示していける価値はあると思う。やめるということになるのなら、前回の理事会の結論や要望も変わったかもしれない。
- ・「いのちがやく」の『いのち』はペットも含まれるのではないか。万博のテーマを考えると、限定的でも最初にやることは非常に重要で、その遺産が、次の万博、未来社会につながっていけばいい。コストをもう少し下げる努力はできるのではないか。どうしてもコストを下げるができなくてもやるべきだと思う。
- ・本件はハード面よりも、ルール設定や実施時期など、ソフト面でのオペレーション調整がメインかと思う。労力をこれ以上割くのは大変なので見送り、となるのはもったいない。
- ・これまで非常に綿密に検討を続けたものの、極めて限定的な形でしか実現できず、コストもかかる。これらを総合的に見ると、見送りが結論かと感じる。ただ、これで終わらず、ここまで検討したことを次につなげていくことが重要。かなりの知見が蓄積されたので、今後のイベントのために整理し、遺産として残し伝えていけば。

(議長)

- ・「ペットとの共生」というテーマ性には皆さん価値を認めているが、前回理事会の案でテーマ性が具現できているのか、価値判断が分かれるところ。ここは議決を取りたい。

この賛否を諮ったところ、出席理事の過半数の同意を得て、これは原案どおり可決された。

【報告事項】

報告事項１ 運営費及び会場建設費の執行状況の件

第２号議案の説明に入る前に、議長により担当理事が指名され、以後の議案にも関わる内容であることから、当該報告事項について説明するよう指示があり、担当理事は、事運営費及び会場建設費の執行状況について報告を行い、これを了承した。

なお、事務局より、今回、議案の説明及び審議に時間を要することから、以下の報告事項については資料の配付を以てし、詳細な説明を行わない旨説明して、了承された。

報告事項２ 会長、事務総長及び副事務総長の職務の執行状況の件

報告事項３ 大阪・関西万博の機運醸成に関する件

報告事項４ イベントの現況の件

報告事項５ 会場内・外周バス乗車料金の件

報告事項６ 桜島駅シャトルバスの準備状況の件

報告事項７ 公式参加者による運営委員会等の件

報告事項８ 海外パビリオンの出展状況の件

報告事項９ 防災実施計画の策定の件

その後、吉村副会長から、ＩＲ事業の工事について、会期中の万博への影響を低減するための施策に係る説明を行い、了承された。

以上をもって、当日のＷｅｂ会議システムを用いた理事会は、終始異常なく、議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長が１６時００分閉会を宣し、解散した。